記者発表資料

水資源機構

令和７年１１月２５日
独立行政法人水資源機構
関西・吉野川支社 淀川本部
琵琶湖総合管理所

渇水対策本部の設置について
（琵琶湖総合管理所）

琵琶湖流域の降水量は、平年（平成４年以降平均値）に比べ、７月は約37%、８月は約94%、９月は約51%、10月は約131%、11月は約47%（24日まで）と推移しています。

琵琶湖の湖水は琵琶湖沿岸域で広く利用されている他、下流府県の生活用水に利用されており、琵琶湖水位は11月25日で、B.S.L.－62cmとなっており、今後、まとまった降雨がなければ、さらに低下することが見込まれます。

この状況を踏まえ、渇水対策を適切かつ円滑に行うことを目的として、11月25日に独立行政法人水資源機構琵琶湖総合管理所に渇水対策本部を設置しましたのでお知らせします。

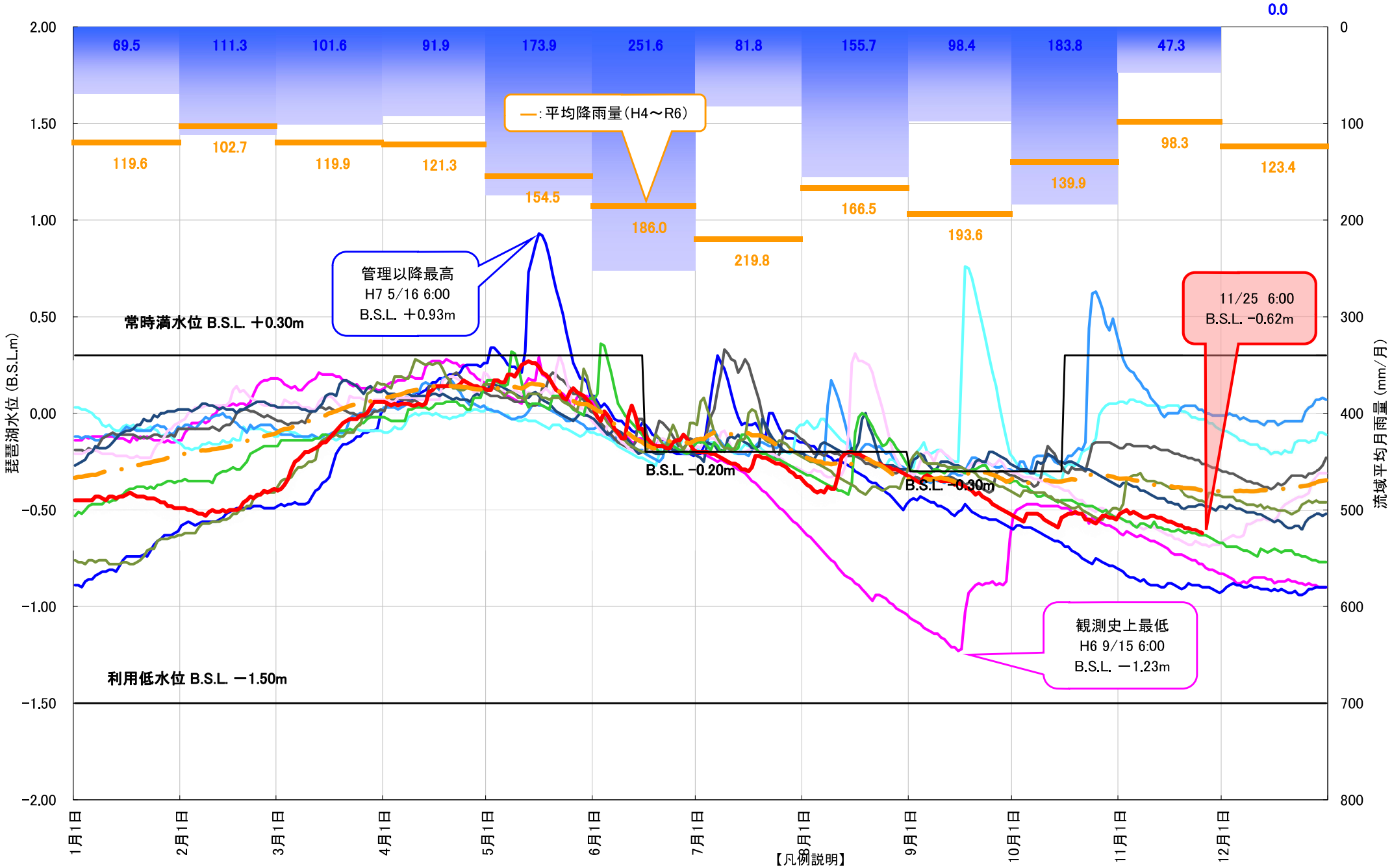
今後、関係利水者等と水源情報の共有を強化し、適切な渇水対応を行ってまいります。限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。

発表記者クラブ：近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 、大阪市政記者クラブ、
滋賀県報道機関

お問合わせ先 ：（渇水対策本部設置に関すること）
関西・吉野川支社 淀川本部 施設管理課長 尾島（おじま）〇
総務課長 横江（よこえ）
電話：０６－６７６３－５１８２（代表）

（琵琶湖開発施設に関すること）
琵琶湖総合管理所 管理課長 陶山（すやま）〇
副所長 岩松（いわまつ）
電話：０７７－５７４－０６８０（代表）

琵琶湖水位及び流域平均月雨量（令和7年）



R7月降雨量
H6水位
H7水位
H25水位
H29水位
R2水位
R3水位
R4水位
R5水位
R6水位
R7水位
平均水位(H4～R6)
制限水位
利用低水位
平均雨量(H4～R6)

【凡例説明】
H6水位：琵琶湖水位が観測史上最低を記録した年
H7水位：琵琶湖水位が琵琶湖開発施設管理開始（H4.4）以降で最高を記録した年
H25水位：琵琶湖水位が琵琶湖開発施設管理開始（H4.4）以降で洪水期に最高を記録した年
H29水位：琵琶湖水位が琵琶湖開発施設管理開始（H4.4）以降で非洪水期の秋期に最高を記録した年
平均水位（H4～R6）：琵琶湖開発施設管理開始から令和6年までの33年間の琵琶湖平均水位